

第 54 回茨城県障害者技能競技大会

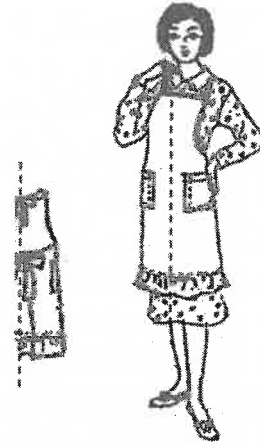
1 課題 エプロン製作

裁断済みの支給された材料で右図スタイルの
エプロン右半身を製作しなさい。

2 競技時間 2 時間 00 分

3 注意事項

- (1) ミシンの調整は、各自で行う。
- (2) 支給材料は、欠陥のない限り再支給はしない。
- (3) 競技中の工具の貸し借りは禁止する。
- (4) 競技が終了したら審査員に申し出る。



4 仕様

- (1) 肩 ひ も : 2 cm のでき上がり幅で三方に端ミシンステッチをかける。
- (2) 腰 ひ も : 上下を 0.5 cm 巾の三つ折り縫いし、先を三角になるように中縫いし返してステッチをかける。付け側は 4 cm 巾にタックをとる。
- (3) ダ ー ツ 縫 い : 中縫いをする、縫い代は中心側へ倒す。
- (4) ポ ケ ッ ト
ポケット口 : 1 cm、2 cm で三つ折り縫いとする。
ポケット付け : (図 1) ポケットの付け方を参照する。
端ミシン、押さえ金の幅(0.6 cm)のダブルステッチとする。
- (5) 見 返 し : 見返し布の下側を 0.5 cm、1 cm の三つ折り縫いとする。
- (6) 肩 ひ も 付 け : 見返しに挟み付ける。
- (7) 袖ぐりカーブ : 1 cm 折り、袖ぐりから胸のステッチ幅は 0.6 cm の押さえ金の幅でかける。
- (8) フ リ ル
フリル作り : できあがり幅 10 cm、右脇は 0.5 cm の三つ折り縫いとする。
フリル付け : ギャザーを寄せ、身頃の裾につけ(付け縫い代右端はわき縫い代で挟みつける)押さえ金幅(0.6 cm)のステッチをかける。
- (9) 脇 : 1 cm、1.5 cm で三つ折り縫いとする。スキッチの順序はフリル付けの後、腰ひもを挟み込み、脇縫いをする。

支給材料

- (1) 表地 (綿ツイル) : 半身分

裁断済みで袖ぐり、フリル上部はロック処理済 肩ひも折アイロン済み、フリル下部は三つ折り縫い済 見返し布は処理済、フリルギャザー寄せ地縫い済

- (2) ミシン糸 : 1 個

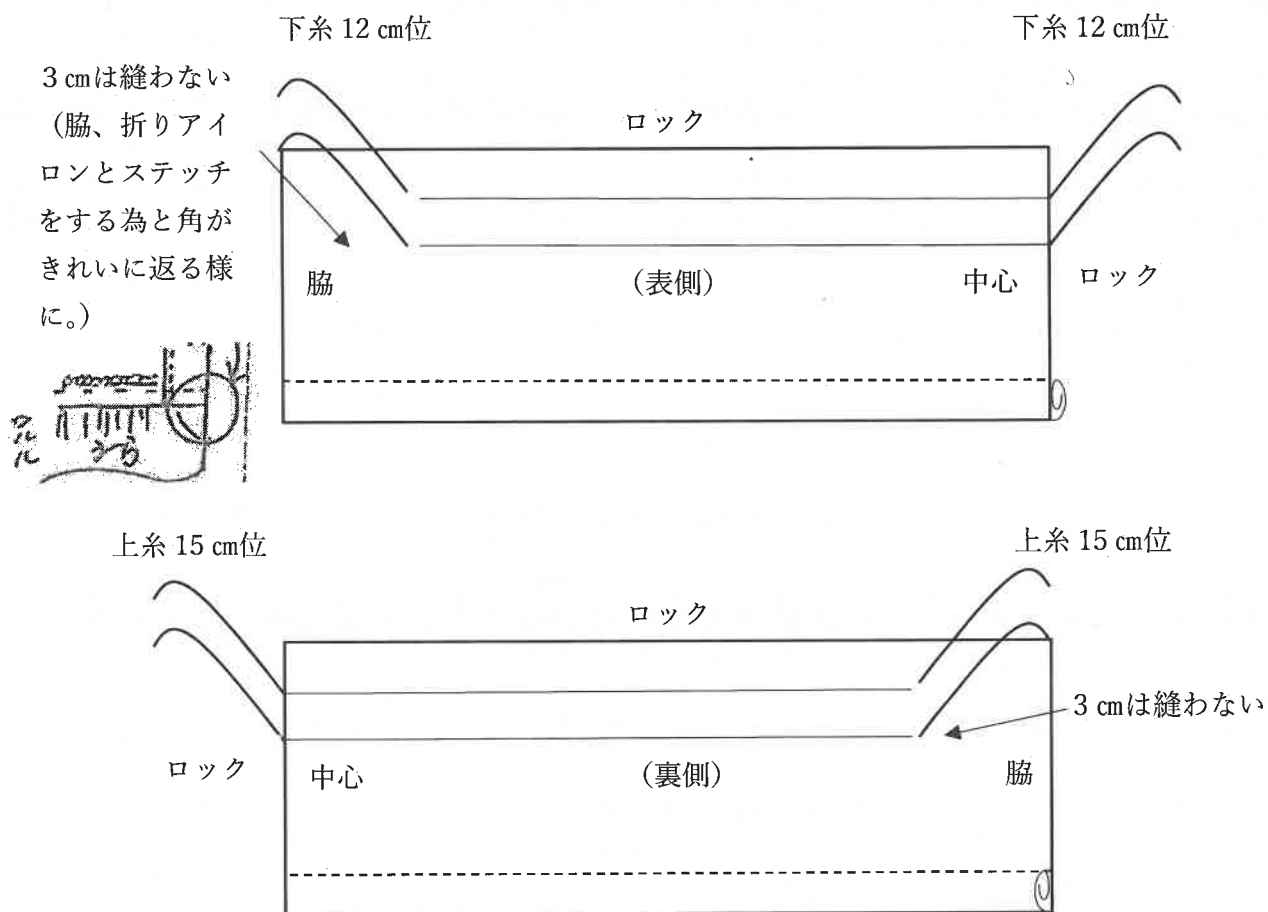
支給材料 フリルの処理について（連絡）

支給材料のうち、裾フリルについては、下記のとおり処理済みとなります。

記

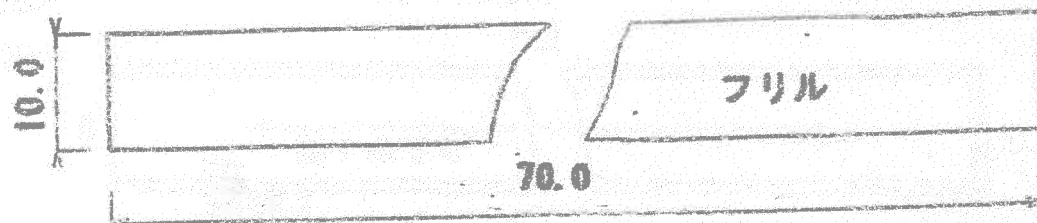
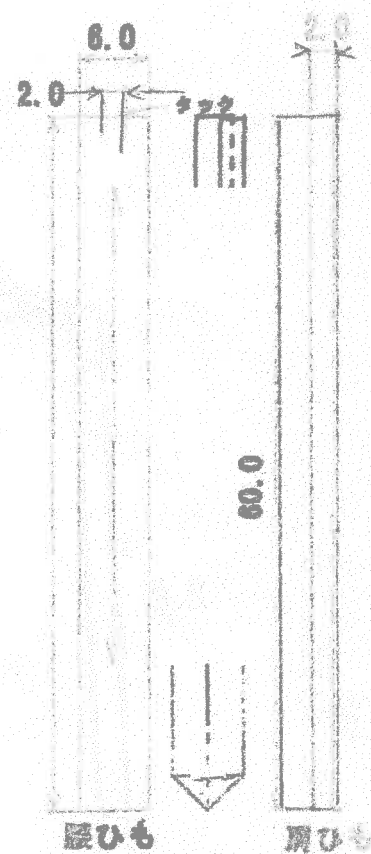
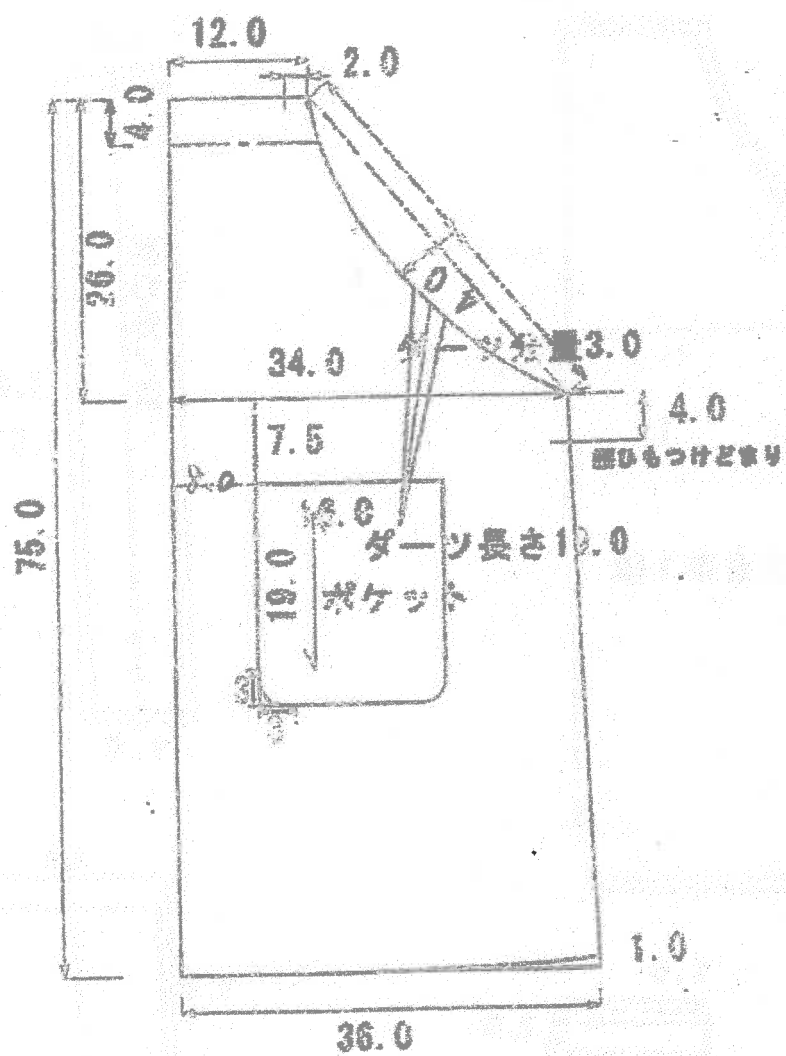
裾フリルの処理済み内容

- ・ 前中心側、上部ロック済み
- ・ 裾、三つ折り縫い済み（右側脇は各自の作業となります。）
- ・ ギャザーの縫い目（2本）済み（※変更点）

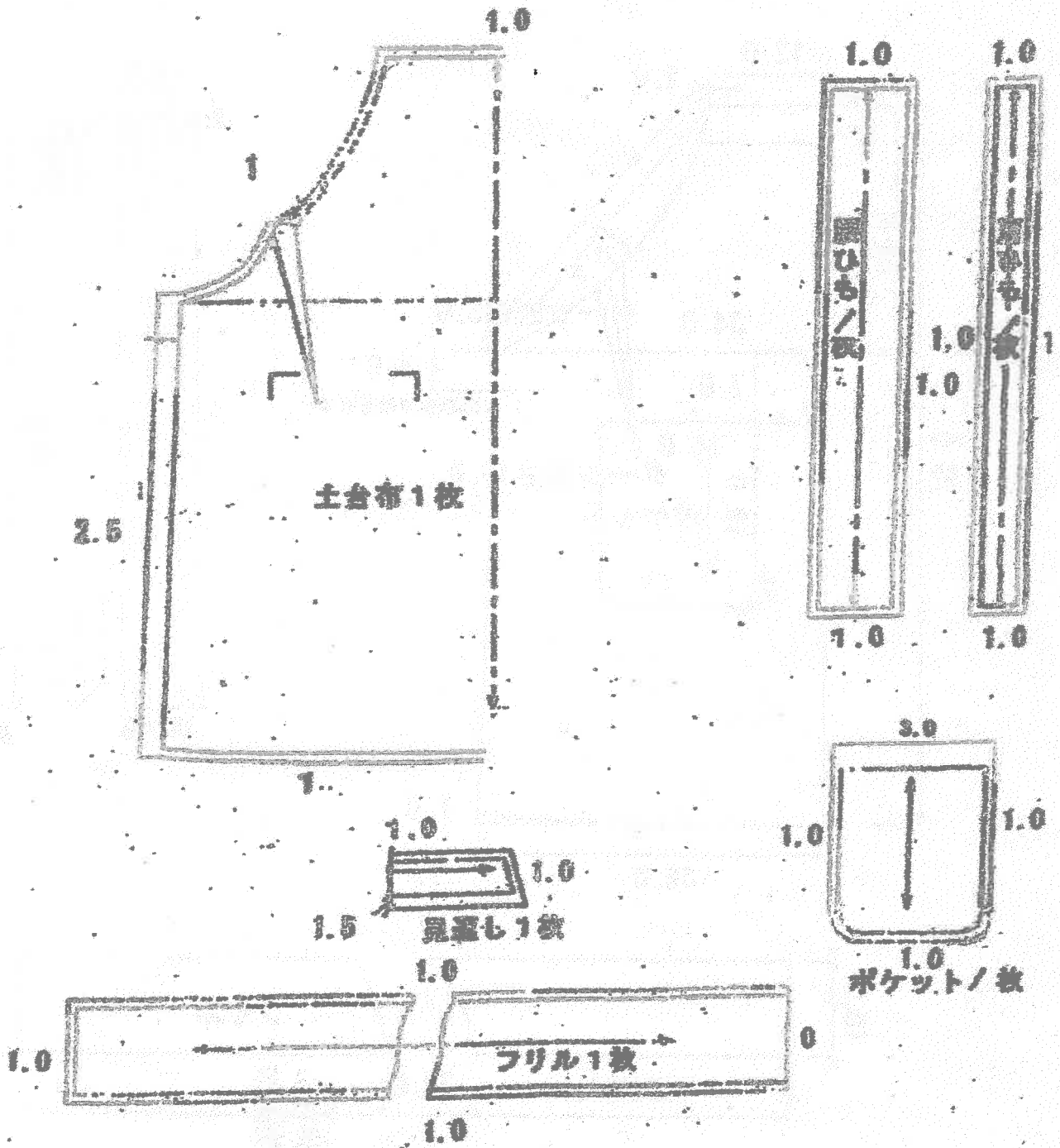


- ◎ 上糸と下糸の残量は、上糸を3 cm長くしてあります。（糸を引くときに、上糸と下糸の区別をわかりやすくするため。）
- ◎ 脇側3 cmは、ギャザー寄せ用のミシン糸は縫わないであります。（三つ折りアイロンとステッチをかけやすくするため。）
- ◎ 作業順序が前後するので、あえて3 cmは縫わないであります。（脇、折りアイロンの作業がしやすいようにするため。）

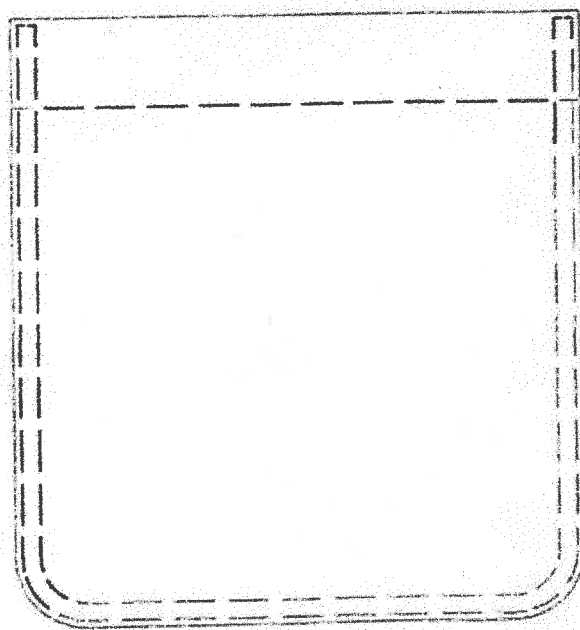
エプロン (技能競技大会課題製図)



エプロン値い代 (京都府京都市)



ポケットの付け方 図1



縫い始め
縫い終わり
重ね縫い2CM